

市議会だより

はまだ

Vol.37

平成27年(2015年)5月1日発行

浜田市立国府小学校開校式

3月定例会 主な記事

浜田市議会議員研修会を開催.....	5
施政方針と教育方針を問う（会派代表質問）...	7
19人の議員が論戦（個人一般質問）.....	9
議会からのお知らせ.....	16

発行・浜田市議会

編集：議会広報広聴委員会

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地 TEL (0855) 25-9800 FAX (0855) 22-6765

平成27年3月定例会

平成27年3月浜田市議会定例会が2月23日に招集され、3月16日までの22日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は53件、請願1件、陳情が1件でした。

審査の様子は2ページから4ページに、採決の結果は5ページに掲載しています。

また、会派代表には4人が、個人一般質問には、19人が立ちました。論戦の様子は7ページから掲載しています。

浜田消防署の 機構改革を議論！

－ 総務文教委員会 －

総務文教委員会に付託された同意1件、議案11件について審査を行いました。

今回、特に質疑が集中し賛否が分かれた議案は一般質問や議案質疑でも複数の議員から質疑が出された「浜田市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例について」でした。

消防業務及び緊急業務の初動体制や災害対応力の向上を図ることを目的に東部消防署と西部消防署を新たに設置し、消防署の管轄区域を3つに分割しようとする提案でした。委員からは消防署の人員が不足しているなかで機構改革を行う方が消

防力の低下になり、市民にも職員にも余計な負担がかかる、消防の人員増が先ではないか、との複数の質疑がありました。

執行部からは、平成23年から消防の課題を整理し、人員増も含めて、組織体制のあり方について検討し報告書にまとめた。その際、人員増は必要と結論付けたが、市の行政改革や交付税削減の流れのなかで、人員増を考えずにやり繰りのなかで体制強化ができないものかと考え、今回の機構改革に至った。メリットとしては東西の署長が配置される出張所では、人員が1名増となり管内をまとめることができ、指揮命令系統が明確化される。各種訓練、指導等に携われる人員ができることや、今まで非番の署員で対応していた訓練や講習にも対応できるなど、負担の軽減や手当の抑制にも繋がる。業務や人事管理も分散できる。デメリットとしては日勤2名を減らして管理職に充てることや管理職手当が発

生することなどが、劇的な変化はなくメリットが多いとの答弁がありました。この議案については賛成4名、反対3名で賛成多数で可決すべきものと決しました。

また、職員給与を平均2%削減する「浜田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」は、生涯賃金から1400万円くらいの収入減となり、地域経済に影響がでるのではないかと質疑があり、影響はあると思うが人事院勧告を重視して対応していきたいとの答弁がありました。さらに、これまで定額だった幼稚園の保育料を国の法改正により応能負担に改正する「浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について」は、新たな保育料設定は国の基準に照らしてどうかとの質疑があり、基準額の範囲で定めているとの答弁がありました。議案10件については全会一致で可決すべきものと決しました。その他、教育委員長と教育長を統合した新

教育長に、石本一夫現教育長とする同意案件は、全会一致で可決すべきものと決しました。

国府小学校に2つの 放課後児童クラブを設置

－ 福祉環境委員会 －



浜田消防署

福祉環境委員会に付託された議案3件について審査を行いました。

「浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正す

る条例について」は、国府小学校に2つの放課後児童クラブを設置するもので、子ども・子育て支援法では定数は40名程度が望ましいとされていますが、国府小学校の改築に当たり、国との協議で広さを確保し定員を60名とされました。現行の上府小学校のかげの子学級放課後児童クラブと国府小学校のかもめ学級放課後児童クラブの名称を残し、地区割りを行い児童数は、ほぼ均等となるようにされます。

「浜田市霊園条例の一部を改正する条例について」は、新しく三隅霊園に分譲地152区画を整備するもので、公設の霊園であること、現在ある竹迫霊園、笠柄霊園との均衡を保ち公平性の観点から永代使用料を46万円に設定することとされました。また将来の供養塔の整備の考えも示されました。維持管理料年5000円は5年まとめで支払うことになりますが、毎年払いの選択制の検討も行われます。



三隅霊園予定地

「浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について」は、子ども・子育て支援法で規定する「子ども・子育て支援事業計画」を策定することなどに伴い、浜田市保健医療福祉協議会の担任事項を変更するものです。これら3件の条例改正は、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。



国府小学校放課後児童クラブ

また、所管事項についても調査を行いました。そのうち使用済み注射針

の回収は、自宅で使った注射針がごみ袋に混入され、作業員の手に刺さる事故が発生しており、これを防ぐためシールを貼った容器を配布し、薬局に持参し市が回収することになりました。

公の施設を廃止した後の利用方法は？

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案5件、陳情1件について審査を行いました。

住宅の品質確保の促進等に関する認定申請等を行う場合の申請手数料額を定めるため「浜田手数数料条例の一部を改正する条例について」は、設計住宅性能評価書を提出することのメリットにつ

いて質疑があり、評価書は長期優良住宅の認定申請に使われるもので、認定を受けることで所得税のローン減税等、税制上の優遇措置がつけられるとの答弁がありました。

地元自治会により自治会館が建設され、当該施設を廃止するため「浜田市漁業集落施設条例の一部を改正する条例について」は、廃止される古市場漁村センターの経過年数と廃止後の利用方法について質疑があり、建築後40年を経過していること、廃止後の利用については、町内からの要望があればお貸しすることも検討するが、今のところ閉鎖を考えているとの答弁がありました。

入居者の退居による「浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について」では、用途廃止後は施設を解体し、土地所有者に返還する予定であるとの説明がありました。が、特に質疑がありませんでした。

「市道路線の廃止について(久佐45号線外)」「市

道路線の認定について(国府248号線外)」も、質疑がありませんでした。採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。

また、「山崎ていじ氏の浜田市イベント出演推進とこれに関する財政的援助」の陳情審査では、所管事務調査でPR大使等の説明を受けた後、委員からは、ふるさと浜田のPRに日夜努める氏を、市を挙げて応援する姿勢を明確に打ち出すために、浜田市のイベントに鋭意招待出演させることが重要で、これに要する経費の財政的支援の応援が必要という意見があり、採決を行い全会一致で採択することに決しました。



廃止される古市場漁村センター

新年度予算を集中審議！

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に付託されました予算議案22件について3月7日から12日までの4日間、「平成27年度一般会計予算」を中心に質疑、審査を行いました。

「平成26年度浜田市一般会計補正予算(第7号)」については、述べ29件の質疑がありました。次に、議案第29号から35号までの8件について審査しました。次に、追加提案のあった、「浜田市一般会計補正予算(第8号)」については、「ようこそ浜田！共通商品券発行事業」に対し、配布方法等について質疑がありました。次に、「浜田市一般会

計予算」では、常任委員会ごとに通告のあった事業番号順に審査を行いました。特に質疑が集中した事業で、総務文教委員会関係では、「はまだ暮らし応援事業」のうち、モデル事業である介護人材確保のためのシングルペアレント受入れ事業について、介護人材に絞った理由や周知方法を問う質疑、浜田在住のシングルペアレントに対する支援も必要では？との質疑がありました。執行部からは、福祉施設のなかでも特に介護の事業所では人材不足が多いと聞き介護人材に絞った、都会地への周知方法として各種定住相談会や島根県の東京、大阪事務所、各種協議会等を考えている、浜田在住のシングルペアレントの方に対して介護職に限らず雇用の場の確保等に前向きに取り組むとの答弁がありました。次に、福祉環境委員会関係では、「障がい者支援施設整備支援事業」について、弥栄自治区のNPO法人への助成および

貸付とのことであるが、基いるのか、との質疑がありました。執行部からは、旧弥栄村時代から福祉・医療についてまちづくりの重要施策として取り扱ってきたとあり、今回も援助・支援することを決定した。ルールについては今後関係部局で検討していく。また、財源についても、地域振興基金での対応ではなく、全市民的な財源での対応も検討したい、との答弁があったところだ。

次に産業建設委員会関係では、「山陰浜田港水産物販売促進事業」について、お魚センターのリニューアル効果が長続きしていないことから、お魚センターを山陰浜田港の拠点と認識し、瀬戸ヶ島理立地活用事業との連携も考えるのであれば、より多額の投資をして再生を図るべきである、との指摘がありました。販促活動にも、さらなる研究と工夫が必要である、との意見もあったところだ。

次に議案第37号から議

案第46号までの10件について審査を行い、2名の委員から2件の質疑がありました。また、議案第47号、第48号の2件について審査を行い、2名の委員から3件の質疑ありました。



予算決算委員会での質疑の様子



議案に対して議員が 討論を行いました

を図るべきだと考えるから。

賛成討論

岡本 正友 議員

議案第6号
「浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について」

反対討論

西村 健 議員

職員給与を平均2%引き下げるとは、地域間格差を拡大し、地域経済に深刻な悪影響を与えることは必至。

反対討論

笹田 卓 議員

現場の職員を減らし、管理職を増やすことが、市民の安全、安心にならず、適正な人員配置後、機構改革を望むため。

反対討論

田畑 敬二 議員

人員増をしない機構改革では消防力を弱め、市民の生命を守れない。先に人員増をすべきと考えるから。

反対討論

森谷 公昭 議員

管理職の署長を増やす前に計画的に定員増

議案第36号
「平成27年度浜田市一般会計予算」

反対討論

西村 健 議員

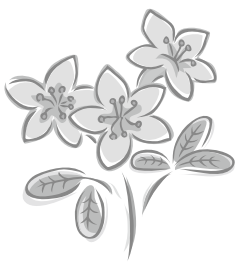
瀬戸ヶ島理立地活性化事業や浜田城周辺整備事業など、基本方針に変わりなく、観光偏重の予算である。

議案第49号
「平成26年度浜田市一般会計補正予算（第8号）」

賛成討論

西村 健 議員

一部にはバラマキに過ぎない事業もあるが、全体的には、市民の暮らしを支援する事業も多く、消極的賛成。



区 分	請願・陳情の内容	提 出 者	審査した経過と結果
請 願	自治区制度に関する請願について	地域協議会会長 栗栖 一雄 様 (弥栄自治区) 永見 利久 様 (金城自治区) 岡本 嗣喜 様 (旭自治区) 三浦 一夫 様 (三隅自治区)	(自治区制度等行財政改革推進特別委員会) 継 続 審 査
陳 情	山崎ていじ氏の浜田市イベント出演推進とこれに関する財政的援助への陳情	宇津 徹男 様 外8名様	(産業建設委員会) 採 択

平成27年3月議会の主な可決事業

—議案第20号—

初動体制と災害対応力の向上を目的!!

“浜田消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例について”

- 改正点・消防署の管轄区域を3つに分割
消防署の名称、位置及び管轄区域
- ・浜田消防署 浜田市中央一円
- ・東部消防署 金城、東部一円（旭、金城）
- ・西部消防署 三隅、西部一円（弥栄、三隅）

—議案第12号—

幼稚園の保育料 定額7,500円が変わる!!

“浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について”

- 応能負担7,500円、8,250円、9,000円
第2子から半額…第3子から0円
- 27年度200万円減収
28年度120万円減収（見込み）
- 施行期日—平成27年4月1日

—議案第28号—

事業費の確定等からの不用額の調整!!

“26年度浜田市一般会計 補正予算（第7号）”

予算規模 407億9,748万円から
△補正額3億2,847万円

最終 404億6,901万円

- 補正事項
- ①ふるさと寄付の調整
 - ②各基金積立の調整
 - ③債務負担行為

—議案第27号—

市道の路線を認定

“市道路線の認定について （国府248号線外）”

①国府248号線	21.0m	
②浜田555号線	80.0m	君市踏切付近
③浜田556号線	150.0m	同上JR北
④西浜田155号線	26.0m	
⑤久佐45号線	70.0m	
⑥久佐73号線	110.0m	合計457m認定

浜田市議員研修会を開催しました

浜田市議会では議員の資質向上のため、毎年研修会を開催しています。

今年度は1月27日に、講師に大塚康男氏（市町村アカデミー客員教授）をお招きし、「議会人の危機管理」と題して講演をいただきました。

今、地方議員の資質が問われるなか、政務活動費や議員の発言など身近な問題を取り上げて課題と解決策をわかりやすく説明されました。

各議員参考となる研修会となりました。



平成27年3月定例会での議案等の賛否の公開（本会議）

議案第1号	浜田市行政組織条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第2号	浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第3号	浜田市行政手続条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第4号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	賛成 23 反対 0
議案第5号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第6号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について 反対：西村	賛成 22 反対 1
議案第7号	島根県後期高齢者医療広域連合に派遣する浜田市職員に支給する特殊勤務手当に関する条例を廃止する条例について	賛成 23 反対 0
議案第8号	浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第9号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第10号	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	賛成 23 反対 0
議案第11号	浜田市教職員住宅条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第12号	浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第13号	浜田市立図書館条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第14号	浜田市保育の実施に関する条例を廃止する条例について	賛成 23 反対 0
議案第15号	浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第16号	浜田市霊園条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第17号	浜田市漁業集落集会所施設条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第18号	浜田市三隅公園条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第19号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第20号	浜田市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例について 反対：小川、森谷、笹田、田畑、平石、西村、江角	賛成 16 反対 7
議案第21号	指定管理者の指定について（若生まなびや館）	賛成 23 反対 0
議案第22号	指定管理者の指定の変更について（浜田市農畜産物加工施設）	賛成 23 反対 0
議案第23号	指定管理者の指定の変更について（浜田市農畜産物加工施設）	賛成 23 反対 0
議案第24号	指定管理者の指定の変更について（浜田市地域資源循環活用施設）	賛成 23 反対 0
議案第25号	指定管理者の指定の変更について（浜田市地域資源循環活用施設）	賛成 23 反対 0
議案第26号	市道路線の廃止について（久佐45号線外）	賛成 23 反対 0
議案第27号	市道路線の認定について（国府248号線外）	賛成 23 反対 0
議案第28号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第7号）	賛成 23 反対 0
議案第29号	平成26年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	賛成 23 反対 0
議案第30号	平成26年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成 23 反対 0
議案第31号	平成26年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	賛成 23 反対 0
議案第32号	平成26年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	賛成 23 反対 0
議案第33号	平成26年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成 23 反対 0
議案第34号	平成26年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	賛成 23 反対 0
議案第35号	平成26年度浜田市水道事業会計補正予算（第2号）	賛成 23 反対 0
議案第36号	平成27年度浜田市一般会計予算 反対：森谷、西村	賛成 21 反対 2
議案第37号	平成27年度浜田市国民健康保険特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第38号	平成27年度浜田市駐車場事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第39号	平成27年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第40号	平成27年度浜田市国民宿舎事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第41号	平成27年度浜田市公共下水道事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第42号	平成27年度浜田市農業集落排水事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第43号	平成27年度浜田市漁業集落排水事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第44号	平成27年度浜田市生活排水処理事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第45号	平成27年度浜田市簡易水道事業特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第46号	平成27年度浜田市後期高齢者医療特別会計予算	賛成 23 反対 0
議案第47号	平成27年度浜田市水道事業会計予算	賛成 23 反対 0
議案第48号	平成27年度浜田市工業用水道事業会計予算	賛成 23 反対 0
議案第49号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第8号）	賛成 23 反対 0
議案第50号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について 反対：西村	賛成 22 反対 1
同意第1号	浜田市教育委員会教育長の任命について	賛成 23 反対 0
発議第1号	浜田市議会基本条例の一部を改正する条例	賛成 23 反対 0
発議第2号	浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例	賛成 23 反対 0

詳細については市議会HPをご覧ください。

会派代表質問



会派の代表が施政方針と教育方針を問う

水揚げ100億円に向け 積極的な取組を

創風会

牛尾博美 議員



質問 県外漁船の誘致については市長のトップセールスが大変効果があるが、現状と今後の取組を問う。

市長 昨年の浜田漁港の漁獲高56億円の内、30億円が県外船であり、市長のトップセールスも継続し、JFしまねと積極的な誘致に取組む。

質問 浜田漁港の高度衛生管理施設整備の計画期間と効果を問う。

市長 平成27年度から水産庁が基本計画を策定し、平成32年頃に整備が完了する予定である。整備により、他所に負けない安全で良質な水産物を提供できるようにする。

質問 有害鳥獣の被害防止策として、弥栄のイノ

シシ獣肉加工施設の整備と農用地を守る防護柵設置の支援について問う。

市長 施設の建設・運営は地元で行う。防護柵など鳥獣対策の補助事業を継続し、一層の被害の軽減に取組む。

質問 企業誘致は最優先課題だが、実現に向けての課題と対応策を問う。

市長 まとまった土地が少ない、労働力の確保が難しい、物流コストが高いなどの課題があるが、企業の要望に沿えるよう努め、広島開拓室を活用し、特に食品製造業などを誘致したい。

質問 国際貿易港・浜田港の将来ビジョンについて、港湾整備や臨港道路福井4号線の整備が進む

なか、活用策を問う。

市長 今年度のコンテナ取扱数は過去最高となった。平成28年度には浜田・三隅道路が、平成29年度には臨港道路福井4号線が完成し、利便性も良くなるので、貨物の集荷やクルーズ船誘致も進め、貿易や観光の日本海側の拠点となるようポートセールスに取組む。

質問 パークゴルフの整備事業について、旭・金城自治区の共同事業としては大いに評価するが、なぜパークゴルフになつたのかなど疑問な点も多い。考えを問う。

市長 金城・旭地域の振興と市内高齢者の健康増進を目的に企画したが、さらに議論を深める必要

があり、一旦事業の提案を取下げた。様々な観点から検討していく。

質問 昨年、市民レベルで松阪市・浜田市友好の会が発足したが、両市間の都市交流協定の現状と今後について問う。

市長 松阪市とは歴史的に深い関係にあり、このご縁を大切にし、友好都市交流協定を検討する。



友好の会設立総会

質問 待機児童ゼロを目指す保育施設の充実と保育士の確保について問う。

市長 保育定員20名増を計画している。保育士の奨学制度で、保育士の確保と制度の周知に努める。

質問 介護サービスについて、国は「施設から在宅へ」の取組を進めているが、介護施設建設についての考え方を問う。

市長 第6期介護保険計画では、待機者縮減のため30床の整備を決定したが、今後の施設整備は様子を見て検討する。

質問 合併10年を向かえる現行の自治区制度を見直し、4年後には制度によらない浜田を目指す案が出されたが、改めて考えを問う。

市長 今後は、もう少し議論を深め、丁寧な説明と地域の個性を生かしたまちづくりと地域振興の仕組みづくりに取組んでいく。

その他の質問

○浜田漁港エリアの活性化と瀬戸ヶ島の活用について



臨港道路福井4号線（完成予想図）

人口減少対策には 地方の活力が不可欠

市民クラブ

小川 稔 宏 議員



質問 市場高度衛生型施設の基本計画策定において、市が整備主体となることの意義について問う。

市長 早期着工のため市が事業主体となり、国県・JFで任務分担をした。

質問 農家で所得5百万円への目標の実現可能性と手法について問う。

市長 土地利用型作物等と主食米との複合経営が一つの手法であり、組合せ作物の普及に努める。

質問 定住、Uーターン促進に向け若者の起業に対する支援策の弾力的運用について問う。

市長 女性、若者の起業セミナー開催や起業支援の補助金を創設する。

質問 安全とサービ入面から生活路線バス運行管理業務委託の入札価格の評価について問う。

市長 留意点を掲げ必要

経費を積算した。意欲と実績のある業者を指名し落札率は8割程度である。

質問 地方版総合戦略策定にあたっての基本姿勢と留意点について問う。

市長 重要業績評価指標を設定しPDCAサイクルを確立する。市民代表、関係団体等の参加・協力をいただく。

質問 まちづくりの基本方針の安定性確保と自治区制度検証作業の集大成として、自治基本条例についての認識を問う。

市長 自治基本条例について住民自治のまちづくりの共通認識は必要。何らかの方法を検討する。

質問 戦後70年の節目の年、反戦平和の記念事業について問う。

教育長 郷土資料館において戦争に関する遺品等の展示をする。

その他の質問

○アベノミクス効果に対する評価

○観光振興

○介護の充実

○島根県立大学の支援および連携

○安全で安心なまちづくりの推進

○男女共同参画社会の形成

○行財政改革と公契約

○ファシリティマネジメントの推進体制



浜田漁港4号上屋付近

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策

○障がい者差別解消法と福祉政策



元気な浜田づくり全て を認めた訳ではない！

風

笹田 卓 議員

質問 「元気な浜田」づくりの3つの重点施策を示した「ロードマップ」についての評価は？

市長 事業着手は、93%で、そのうち約60%は、計画どおりに実行できた。

質問 今後の浜田漁港の見通し、課題は？

市長 高度衛生管理型市場の整備、リシップ事業の推進、県外船誘致など数多く課題がある。

質問 TPP参加による影響の見解は？

市長 農業への影響があり、6次産業化、高付加価値の農産品を算出する。全市的な観光振興

質問 水産業の復興は、浜田漁港整備が不可欠！



水産業の復興は、浜田漁港整備が不可欠！

計画は必要だが？

市長 観光協会、商工会議所などと連携し、全市的な観光戦略をまとめる。

質問 萩・石見空港の2便化の促進については？

市長 独自の助成事業を継続し、利用促進施策を強化する。

質問 医療の充実についての支援策は？

市長 新たな医療体制の構築を図り、診療支援、研修医の教育、医療機関の連携強化を行う。

質問 人口減少対策についての支援策は？

市長 人口減少を最小限に食い止める具体的な施策を、多方面から数値目標を掲げて取り組む。

質問 市民への情報伝達方法の施策は？

市長 緊急速報、防災防犯メールや広報車など様々な手法を活用している。

るが、今後も新たな手法も充実に向けて取り組む。

質問 議会としっかり議論を交わしていない「元気な浜田」づくりに基づいた財政計画だが？

市長 次期総合振興計画に「元気な浜田」づくりは確実に盛り込み、今後は議会や関係者と議論を交わし、行っていく。

質問 浜田自治区の小中学校も含め、生徒数の減少から統合の可能性は？

教育長 生徒数の減少により、望ましい教育環境ではない。長期展望として小中学校の統合も検討する時期にきている。

質問 防災、減災、防犯、救助は、迅速な情報伝達が不可欠！

市長 防災、減災、防犯、救助は、迅速な情報伝達が不可欠！

市長 防災、減災、防犯、救助は、迅速な情報伝達が不可欠！

市長 防災、減災、防犯、救助は、迅速な情報伝達が不可欠！

市長 防災、減災、防犯、救助は、迅速な情報伝達が不可欠！

重要なのは攻めと守り の投資バランス

公明クラブ

佐々木 豊 治 議員



質問 当市の施設やインフラの今後の更新投資可能額が半分であるとの試算が示されているなか、

社会保障費をはじめとする市民を守る経費の確保と、交流人口を増やし地元経済の底上げをする経費の攻めと守りの投資バランスが重要ではないか。

市長 施設の老朽化に伴う更新問題や急速な高齢化による社会保障費の増加に加え、合併による国の財政支援措置がなくなること

で財政運営は今後ますます厳しくなる。攻めと守りの投資バランスを取ることは行財政運営上最も重要な観点である。

質問 パークゴルフ整備事業について、整備によるランニングコストをはじめとする収益のシミュレーションなどがほとんど示されていないなど、

多額のコストを投入する必要性や説明責任がなされていないと思うが問う。

市長 理解に向けて、議論を深めるための時間が十分ではなかった。今後調査をして説明責任を果たしていきたい。

質問 公共施設のマネジメントについては施設白書作成や再配置素案に基づき、今後実施計画策定に取組むこととなっている。しかし、計画策定段階では住民の総論賛成各論反対の両風に合い、合意形成ができず、先進自治体でも取組が進んでいない。施設の面積削減だけではなく、同時に受益者の使用料の負担増や民営化の導入など財源確保に視点をあてて取組むべきではないか問う。

市長 施設総量削減による更新経費の圧縮に加

え、民間活力導入による経費の削減や施設使用料の見直しなど、財源確保の取組も必要と考える。

質問 今後の学校統合の考え方について、美川小学校など古い校舎から議論されるべきではないか。

教育長 古い順番だけではないが、美川小は築70年を超えており優先順位は上に来るものと思う。

その他の質問
○予算編成について
○情報マナー向上の取組について



河内パークゴルフ場（東広島市）

個人一般質問 19人が論戦

地方版総合戦略で 地域の衰退防げるか？



答 実施計画も策定し、五ヶ年の事業を盛込む

野藤 薫 議員

質問 来年度作成する地方版総合戦略は、実施中の事業や、関連する新規事業も盛り込むのか問う。

地域政策部長 地方版総合戦略には「しごこの創生」「ひとの創生」「まちの創生」などの関連事業が計画される。

審議会や検討委員会などで多くの意見を聞き、現在の事業や拡充する事業、新規事業など5ヶ年先までの計画となる。

質問 市内小中学校においては電子黒板が導入されている。先進事例で電子黒板とタブレットを使用した授業が学習効果をあげていると聞く。市内の学校でタブレット端末の使用はあるのか問う。

教育部長 学校現場では電子黒板は各学校に配置されている。タブレット端末は教育委員会ですり

的に10台導入し、希望で貸し出している。今後は効果を見て検討したい。

質問 県立大学の学生等が商店街や地域に居住すると、様々な面で活性化になるが、取組を問う。

地域政策部長 来年度、市街地で空家を活用した県大生向けのシェアハウスなど地域活性化の試験的な事業を予定している。

その他の質問
○年度途中に、兄弟姉妹同一保育所への入所について



電子黒板での授業

中国系メガソーラー

建設影響等住民不安は？



岡本 正友 議員

答 災害等不測の事態には適切・迅速に対応する

質問 浜田カントリー跡地の外国人投資による大規模な国土の所有はその影響や権利において問題。

地域住民が安全安心できる仕組みづくりによって抑止を含めた対応策を図るべきである。法的届出及び許認可の状況は。

都市建設部長 国土利用

計画法や農地法等届出が該当し工事完了後に報告書の提出を求めた。県には景観条例の届出がされ完成後の維持管理及び発電の用に供さなかった場合には撤去を条件に確認通知書を交付している。

質問 売電契約は20年間である。提出書類の写しを含めた保管管理等期間は現行制度では短く、その措置と対策を問う。

都市建設部長 契約の状況から書類の期間を考慮して保管には配慮したい。



大型の太陽光発電

質問 住民の不安を払拭させるために「空き家等の適正管理に関する条例」や「浜田市景観に関する条例」において、安全点検の報告義務や立入り調査できる条項等の追加条例を加えて安全安心を担保させる必要があるのではないか。また外国

人土地法や権利取得に関する条例について国や県と調整すべきと考えるが、**都市建設部長** それぞれの目的から課題があるが、検討したい。

議会や請願審査を

軽視しているのでは…



江角 敏和 議員

答 理解を得られる提案を6月議会で行いたい

質問 議長団より、「自治区制度」等の件で、市長へ申し入れがされた。地方自治における二元代表制は、首長・執行機関と議会とが双方に抑制と均衡を図りながら、より良い自治体運営をしていかなければならない。今日の状況下で、自治区制度に関し、時間をかけてでも最良の意思決定を導き出すことが、課せられた共通の使命ではないか。

市長 制度の検証を行い、財政状況を踏まえた上で、今後の方針を示し、議員や地域協議会の皆さんとも意見交換をしてきた。しかし、もう少し時間をかけて検討する必要があると認識したため、今議会において議案の上程は、見送ることとした。

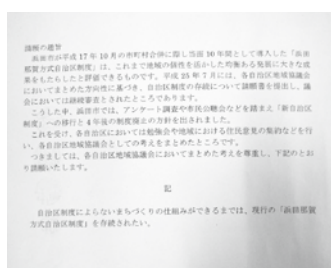
質問 会派として提起し

ている「3年間の延伸」等に対する見解を問う。

市長 現制度を半年間延期し、以後4年間は一部見直しをした「新自治区制度」とする。その後、新制度は廃止する。

質問 自治区制度に関する「請願」が出され、議会がこれから、その審査を行うのであり、そうした答弁は、議会や請願内容の軽視ではないか。

市長 市民の皆さん等の意見を真摯に受け止め、理解を得られるような提案を6月議会で行いたい。



請願は委員会で継続審査に

保育所の待機児童発生の

可能性は？



西村 健 議員

答 年度後半から発生する可能性はある

質問 4月から子ども・子育て支援新制度が始まるが、準備状況を問う。

健康福祉部長 現在、入所申込にあわせ、認定の作業を進めている。

質問 支給認定における保育標準時間と保育短時間の区分および延長保育の考え方について問う。

健康福祉部長 標準時間はフルタイムで月120時間以上の就労、短時間はパートタイムで月48時間以上、120時間未満の就労で、利用時間帯は8時30分～16時30分である。この時間帯をずれる場合の延長保育料については国から示されており、保護者に不利益が生じないよう対応したい。

質問 浜田自治区では5年間の事業計画期間中、ほとんど確保量より必要量が上回っている。待機

児童は発生するのかわ。

健康福祉部長 待機児童は、年度当初は概ね発生しないと考えているが、年度中途から0歳児の入所希望が多くなり、年度後半からは発生することもある。

質問 待機児童の解消策について問う。

健康福祉部長 0歳児入所受入促進事業や保育士修学資金貸付事業、処遇改善事業等による保育士確保と、施設整備による定員増に努める。



みのり保育園

公民館（分館）の今後と まちづくりの推進は



布施 賢司 議員

答 平成27年度末を目途に
その方向性を示す

質問 浜田自治区にある公民館9分館（有福分館を除く）の管理を地元自治会に委託し、主事を廃止する見直しは、地元自治会への説明は十分か。

教育部長 社会教育委員の会から、分館の活動は地域行事や自治会活動が大半を占めており、地元自治会に譲渡し自由に活用できるようにと提言があり、昨年10月より移行の了解が得られるよう順次説明をしてきている。

質問 本館は広範囲な地域をカバーできるのか。

教育部長 自治会が管理運営を行っても、本館の行事との関わりは変わらないものと考えている。

質問 まちづくり支援の核となる公民館の今後は、

教育長 人材育成及び地域づくりの観点から、市長部局と一緒に検討



自治会に運営を譲渡される分館

話し、平成27年度末を目途にその方向性を示す。

質問 浜田自治区の地区まちづくり推進委員会の設立が進んでいない地区は、枠を狭めても具体的に課題が共有できる地域設定を市が認めるべきだ。

地域政策部長 地域がまとまり共通の課題解決に向けて取組むことが重要で、参加されやすい組織、範囲等について検討する。

その他の質問

○第二ダム周辺環境整備

○自治体連携について

浜田は貯金も財政も 県でトップの市では？



森谷 公昭 議員

答 他市に比べ大幅に改善したが将来が心配だ

質問 近隣の他市に比べて浜田市の財政はどうか？

財務部長 借金の返済率、その年の収支は浜田市が一番良い。

質問 私の調査では、6市のなかで、5項目の全てが1位か2位、他市はあっても1つだ。どのように悪いのか。

財務部長 指数では良く見える。人口減少、算定替え等を考えると、財政状態が良いまま推移するとは考えにくい。

質問 浜田市は約8百市中ピリから6番目であったが、百市以上ごぼう抜きして勢いは止まらない。市長は「財政が悪くないなら自治体制度は続けたい」と発言されているが、この発言を撤回する必要はないか？

市長 浜田市は他市より



瀬戸ヶ島の自然は甘くない
防波堤を超えた波と塩工場

大幅に改善した。しかし、将来を見据えた時、財政が厳しくなる。自治体制度を見直す考えは変わらない。

質問 世界遺産の石見銀山でさえレストランが倒産した。夕張も観光で再建団体になった。松江、出雲でさえも財政が悪い。瀬戸ヶ島事業にあたり、これらを反面教師とすべきではないか？

地域政策部長 地域経済の活性化のため観光産業の投資は必要だ。

どうする？ 元気のでる地方版総合戦略は！



牛尾 昭 議員

答 積極的に取組みたい

質問 25年前のふるさと創生1億円の評価検証を問う。

地域政策部長 5市町村とも、人材育成や刑務所誘致、源泉開発などをし、残りは基金に積んだ。

質問 今回はどうする。

地域政策部長 県と連携し、副市長をトップとした検討委員会を組織する。

質問 5自治区の特徴を活かす計画を問う。

地域政策部長 提案を参考にしたい。

質問 元気が出るプレミアム商品券を問う。

市長 20%を付けたプレミアム商品券・ようこそ浜田商品券・多子世帯応援商品券を発行する。

質問 10%にし、発行額を倍の6億円にした方がより効果があると思うが。

産業経済部長 前回の例を参考とし検討したい。



発行が待ち遠しい商品券

質問 政策で恒常的に商品券事業をしてはどうか。

産業経済部長 検討する。

質問 市場の高度衛生整備がスタートするが、合わせて冷凍冷蔵庫の整備が必要では。

産業経済部長 その通り。

質問 原井・石見の統合幼稚園の計画について言及がないが問う。

教育長 今年度中に報告の予定であったが、子育て支援センターの老朽化があり、複合施設を含めて来年度早々に示したい。

県立高校の縮小や 統廃合への危機感はないか

荻谷 英夫 議員



答 人口定住に大変な
危機感をもっている

質問 中学卒業生のうち市内の高校3校進学者は約半数と少ないが、高校魅力化の取組を問う。

教育部長 高校魅力化として高大連携、浜商デパートなどの取組、浜田水産は県外入学者を受け入れ、27年度入学者数は3校とも上回っている。

質問 県立高校の縮小や統廃合などの事態も考えられるが、危機感を問う。

総務部長 県立高校の定数の確保は人口の定住にもつながり、大変な危機感を持っている。

質問 プレミアム商品券購入を県大の保護者などに、呼び掛け外貨を獲得する考えはないか問う。

産業経済部長 検討してみたい。



「定住への熱い思いが語られた」
高校生フォーラム
(平成27年2月6日石央文化ホール)

上げを伸ばしており、これを瀬戸ヶ島事業にどう活かすのか。

産業経済部長 萩しーまーとは地元客や観光客にも人気がある。瀬戸ヶ島事業のにぎわい空間のためノウハウを活かしたい。

質問 市民参加、住民自治の推進など自治区精神をどう実現するのか問う。

地域政策部長 自治区制は自治意識の醸成により制度であり、自治区精神をもとに、地域振興の仕組みづくりを検討したい。

美川小と四中の 新築校舎への建替えは？

澁谷 幹雄 議員



答 老朽校舎が多いので、
計画的に建替えたい

質問 昨年末発表された浜田市の中期財政計画に、美川小学校と第四中学校の新築校舎への建替えが予算化されていない。平成20年と26年の2度に渡って地元自治会やPTAから要望書が提出されている。統合して小中一貫教育のモデル校に指定するという規制があっても構わないという、奥ゆかしい内容だ。この学校の新築が遅れば遅れるほど、石見小学校などの他の学校の建替えが益々遅れることになるのではないか。

教育長 浜田市には、建設から50年以上経った老朽化の激しい学校があり、5年に一校ぐらいペースで新築校舎に建替えて行く必要があることは十分理解している。

質問 12月議会において、議員個人の「議会報告」を学校現場に配るの



一日も早い建替えが望まれる、老朽化の著しい美川小学校と第四中学校

は、公職選挙法に違反していないので問題ない、との答弁だった。それでは、「職務専念義務」違反から先生を守ることはできないのではないか。

教育長 議員個人の「議会報告」を、学校現場に配布することについて配意いただければ、誠にありがたい。12月議会での教育委員会の対応は、学校現場への配慮に欠けていたと反省している。

地域包括支援センターの 複数設置を明確に！

足立 豪 議員



答 平成27年度中に
方向性を出す

質問 企業が工場や事業所を新設もしくは増設する際に、要件に満たせば土地取得費に対し20%、正規職員に対し一人当たり50万円、非正規職員に対し一人当たり10万円の助成金を支給されていた「浜田市企業立地促進奨励金」だが、要件を満たした場合は非常に有効な支援策であったにもかかわらず、このたび対象業種を製造業とソフト産業に絞り、補助率を20%から10%に引き下げ、地元企業においては20%を5%に引き下げる改正をされた理由について問う。

産業経済部長 島根県西部地域に少ないソフト産業の誘致を島根県と連携して進めたい。他市との競争もあることから、市外企業ヘイセンスンティブを与えたい。



地域包括システムに魂を注入

質問 地域包括ケアシステム導入、法改正による介護予防の地域支援事業への移行も含めて、地域包括支援センターの一刻も早い導入が必要だが、時期について問う。

健康福祉部長 支所2人体制移行後の業務量を見ながら、平成27年度中には増設の時期や方法について方向性を出したい。

その他の質問
○産前産後家事支援ヘルパー派遣事業の導入について

グリーンツーリズムで

地域おこしを！



答 専属職員を配置し
都市農村交流を支援

柳楽真智子 議員

質問 自主防災組織の構築に力を入れているところだが、防災出前講座は要望があれば対応するとされている。要望の有無に関わらず、積極的な対応が必要ではないか。

総務部長 公民館単位など、広い範囲での開催も含めて検討する。

質問 農山漁村において自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動が、グリーンツーリズムだと聞いている。人口が減っていく中山間地域では、自分たちが出ていくか人を呼び込むかとの考え方もあるようだ。高齢のご夫婦が民泊を始めて、人との交流を通して元気になったという事例もある。都会から来る人にとっては、非日常的な体験や人との関わりで癒されるようだ。宿泊だ



民泊での食事の様子



農家レストランの調理風景

けでなく地域の特産品の販売にも繋がり、経済効果もある。今後の取組は、産業経済部長 経済効果にとどまらず、地域の絆づくりや生きがいづくりなど、社会的な効果も期待される。今後、市が専属職員1名を雇用し協議会と一体となって、交流人口の増加を図る。

オリンピックのキャンプ地招致で

地域に賑いを！



答 馬術競技のキャンプ地招致に向け取組む

平石 誠 議員

質問 市長の市政方針で東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致に取組むとあったが、どのように取組むのか？

健康福祉部長 かなぎウエスタンライディングパークでパラリンピックの障がい者馬術競技のキャンプ地招致を目指し、担当部局を超えた全市体制で取組む。また、競技団体、島根県、福祉団体等の関係機関との密接な連携で取組む。キャンプ地としてのニーズを十分把握し積極的にアピールしていく。

質問 障がい者競技の招致となるとバリアフリー対応の宿泊施設が必要となるが、現在市内には車いす対応の宿泊施設は2部屋しかない。この機会に施設整備に対して支援し、誘客力アップを図る



キャンプ地招致を目指す
かなぎライディングパーク

健康福祉部長 キャンプ地招致のためには、練習環境だけでなく周辺施設の充実が求められるが、招致に際してかなり高い基準等があるため、これらの状況を見ながら支援方法を検討していく。

質問 市施設における未登記土地を解消し、適正な課税をすべきでは。

建設部長 土地所有者から申し出があれば、登記可能か判断し、難しい場合は課税免除している。

質問 障がい者競技の招致とするとバリアフリー対応の宿泊施設が必要となるが、現在市内には車いす対応の宿泊施設は2部屋しかない。この機会に施設整備に対して支援し、誘客力アップを図る

東部・西部消防署が

なぜ必要なのか？



答 設置は住民サービスの向上になる

田畑 敬二 議員

質問 金城・旭を東部消防署、弥栄・三隅を西部消防署にして、管理職の署長を配置するがどのような体制になるのか。

消防長 消防署長は管理職として配置し、執務上の決定権を持ち支所との協議や現場での意思決定が早まり住民サービスの向上になる。

質問 出張所を統合しないで、東部消防署・西部消防署を設置するとのことであるが、全国や県下で存在するのか。

消防長 今回設置予定の消防署のような機構を有しているのは、全国的には確認をしていないが、県下では存在しない。



浜田消防署 三隅出張所

質問 救急出動が重複した場合の署長の対応はどうなのか。

消防長 非番員の呼び出しをしたり、直近の到着を待つて現場に出動する。

「浜田歴史館」の建設予定地は？



答 城山御便殿の隣接地を予定

岡野 克俊 議員

質問 (仮称)「浜田歴史館」の整備概要を問う。

教育部長 ソフトについては市全体の歴史・文化・産業・郷土の偉人に焦点を当て、市民へ郷土への誇りを育み、浜田の良さを探求できて、市外の方へ情報発信できる施設として検討していく。また、ランニングコストを考慮して御便殿と一体的に管理運営していきたい。

質問 この4月政府の掲げる「一人親家庭支援強化」のなかで、それらの世帯のUターンについて浜田市の取組を問う。

地域政策部長 全国的に離婚率が上がるなか、都会地等で経済的にご苦労している一人親(シングルペアレント)世帯に対して、定住対策モデル事業として人材の不足する市内介護保険事業所へ



御便殿

の就業斡旋を行っている。具体的には、家賃最大2万円補助、高校生以下の子どもがいる世帯には別途月3万円を給付する。また、自動車取得費の一部に経費として20万円を補助し、対象者への給与分として事業者へ15万円1年間補助する。

その他の質問

○ふるさと郷育推進事業「補助教材」

住民意識の高揚で共生のまちづくりを！



答 中間施設の必要性を考慮研究会を立上げる

上野 茂 議員

質問 12月議会で「民設民営の全就労型中間施設」を誘致する考えを質問したが、前向きな回答が得られなかった。再度その取組について問う。

市長 旭自治区において中間施設の設置を求める声を聞いている。今後は、同施設のあり方や設置について考える研究会を立ちあげる。

質問 公民館の業務は多種多様なものへ複雑化し、本来の設置目的以外にも住民票などの交付や施設の活用等は様々で、さらにまちづくり活動に関わる公民館も多く職員の負担増になっている。今後職員に公民館が向かうべき姿を明らかにしていく必要があると考える。そのためには、教育委員会と市長部局の密接な連携が必要であり、連

携と協議が充分されているのか問う。

教育部長 出雲市荒木コミユニティーセンターなど先進地の視察や、さらに「公民館と地域コミュニティ」に関する調査グループの会議を開催するなど、協議を深めていく中で今後さらに連携し協議を深め取組を進めていきたい。

その他の質問

○定住対策について

○モデル公民館の選定



田植えばやし(学校支援)

中間管理機構の方向性、現在の状況は！



答 窓口での相談業務や受付業務を開始した

串崎 利行 議員

質問 米価下落対策の支援について問う。

産業経済部長 主食用米の生産に依存した農業から主食米と組合せる作物を振興、支援することで、農家所得の向上と農業意欲の高揚を図る。

質問 力強い農業を実現するために、集落、地域が話し合いを行い、農地の問題を解決していく、人・農地プランの作成を推進しているが、現在の進捗状況を問う。

産業経済部長 現在61プラン作成している。今後、各地域が抱える人・農地の問題解決に向けたプラン作成と活用にも努める。

質問 政府は、企業に対して女性管理職を3割にするよう求めている。今後、女性の力はさらに大事になるが、市職員の、

管理職の状況を問う。

総務部長 浜田市の課長級以上の管理職員は77名で、その内女性職員は4名。女性管理者を30%にするには、24名必要となる。今後係長級への積極的な登用を図り、管理職への登用につなげる。

質問 屋根付多目的運動施設の建設について問う。

教育部長 新たな施設整備については、初期投資、維持管理費のコストの面から現段階では建設は難しいと考える。



中間管理機構の窓口(農林振興課)

瀬戸ヶ島埋立地は 観光振興より産業振興で！



西田 清久 議員

答 いろいろな皆様の声を聞き、議論を深めたい

質問

瀬戸ヶ島埋立地の活用計画については、多くの市民から観光振興に対して否定的な声が多かった。そこでこの度、国土交通省の選定する重点「道の駅」に「ゆうひパーク浜田」が選ばれたことと、やがてできる臨港道路福井4号線による山陰道からのアクセスのメリットで浜田の臨海エリアはビジョンの見直しが必要と感ずる。

瀬戸ヶ島埋立地は、島根県と浜田市が一心同体となり、水産技術センターや浜田水産高校、漁業技術者等と連携して本格的に栽培漁業や養殖漁業に取組む考えはないか問う。

市長

水産関係で使うことが基本だと考え、以前から水産系の活用策をずっと考えてきた。しかし、今は経済的、技術的

に難しいので期間限定で他の用途に使うこともありではないかと考える。

質問

臨海エリアが活性化してくるとツーリズムの手法で浜田市全域のあらゆる資源を活かすことも加速する。これが浜田市のできるお金をかけない最良の活性化策だと考えるが所見を問う。

市長

同感であり、いろいろな資源を有機的に活用して地域の産業を育てるため議論を深めたい。



浜田臨海エリアのシンボル
“マリン大橋”

結婚支援センターの 出先の的な拠点が要だ！



飛野 弘一 議員

答 関係団体などと設置について協議する

質問

人口減少対策の一環で未婚・晩婚化対策を強化するなか、「結婚支援センター」の出先の的な結婚支援拠点が切望されている。市としても県・企業・団体・法人など関係機関で合意形成をはかり至急に相談所（仮称）を新設し一体的に活動をはかる必要があると思うが、取組について問う。

地域政策部長

市としては、未婚・晩婚化対策は人口減少対策の観点からも喫緊の課題であり、そのために婚活支援の強化をはかることは重要と考える。本年4月から婚活の担当部署の新設や嘱託職員等を配置するなど検討し、これまで以上に婚活のイベント強化に努める。また「結婚支援センター」の出先の的な相談所（仮称）についても必要

であると考え、市内関係団体と設置について協議する。



婚活イベント第2弾
ハッピーカーリング

その他の質問

○「三隅つつし公園」のしまね景観賞優秀賞受賞について

○28年度から始まる「地域公共交通再編計画」について

○認定新規就農者・認定農業者・集落営農など担い手育成支援事業と農業マイスター支援事業について

ゆうひパーク浜田と お魚センターを浜田の核に



道下 文男 議員

答 お互いの情報共有化で誘客の増大を図る

質問

ゆうひパーク浜田が、国交省による「重点道の駅」に選ばれた。これを機に浜田市の地域連携の核として、しまねお魚センターとともに誘客増加の相乗効果を図りたいが考えを問う。

地域政策部長

ゆうひパーク浜田は、国の整備でトイレ施設の移設が計画されている。あわせてドッグランの設置や本館のリニューアル等、女性目線での賑わいの創出を考えている。しまねお魚センターとともに浜田市の地域連携と産業振興の核として、お互いの情報の共有化を図るなど、連携して誘客の増大に努めたい。

質問

未婚・晩婚化対策の強化を図りたいが考えを問う。

地域政策部長

昔ながら

の結婚世話焼き人である「（仮称）縁結び相談員」の配置に取組む。

質問

若者の結婚を促進するには、企業の賃上げと、地産地消の取組強化が必要と思うが考えを問う。

産業経済部長

指摘通り、企業の賃上げは重要課題である。従って中小企業の多い浜田市では、地産地消への一層の取組強化が必要である。



生まれ変わる「ゆうひパーク浜田」

今年もやります!!

議会報告会



昨年の議会報告会の様子

開催日時及び会場

- 5/13(水) 19:00~20:30 弥栄会館 (2班)・三隅公民館 (1班)
 5/14(木) 19:00~20:30 美川公民館 (4班)・金城みどりかいかん (3班)
 5/15(金) 19:00~20:30 国府公民館 (2班)・旭センター (1班)
 5/16(土) 10:00~11:30 周布公民館 (3班)・石見公民館 (4班)
 5/16(土) 14:00~15:30 浜田公民館 (2班)・長浜公民館 (1班)

浜田市議会では、今年も議会報告会を開催します。

各地域の公民館などを会場とし、開催する予定です。

議会報告会では市民の皆さまに、先に行われた3月市議会定例会の議案審議の状況報告と意見交換会を行います。

市民の皆さまからのご意見をいただきながら、今後の議会活動の取組に活かしていきたいと考えています。

市民の皆さまのご来場を議員一同心からお待ちしております。

お待ちしております!!

会場：三隅公民館・旭センター・長浜公民館

1 班	氏 名
班 長	佐々木豊治
委 員	牛尾 昭
	田畑 敬二
	柳楽真智子
	小川 稔宏
	飛野 弘二
	6 名

会場：弥栄会館・国府公民館・浜田公民館

2 班	氏 名
班 長	芦谷 英夫
委 員	江角 敏和
	西田 清久
	足立 豪
	串崎 利行
	森谷 公昭
	6 名

会場：金城みどりかいかん・周布公民館

3 班	氏 名
班 長	布施 賢司
委 員	西村 健
	岡本 正友
	笹田 卓
	上野 茂
	5 名

会場：美川公民館・石見公民館

4 班	氏 名
班 長	平石 誠
委 員	牛尾 博美
	道下 文男
	岡野 克俊
	野藤 薫
	5 名

【編集委員】
 田畑 敬二 委員長
 笹田 卓 副委員長
 足立 豪 委員
 柳楽真智子 委員
 森谷 公昭 委員
 野藤 薫 委員
 布施 賢司 委員
 岡本 正友 委員
 澁谷 幹雄 委員
 牛尾 昭 委員

心地よい新緑の季節を迎え、ピカピカのランドセルを背負った新1年生、朝の「おはよう」のあいさつをするのが気持ちのいいものです。しかし、休日に当たり前に見られた光景が、核家族化、共働きが増えたことや治安への不安、遊び方の流行もあるのか、外遊びをしている子が少ないように思います。

市内には室内、野外さまざまなスポーツ施設や公園が多数あり、外遊びすることによって、地域コミュニティ活性化にもつながります。未来の浜田のためにも、健康でいきいきとした子ども時代を過ごしてもらいたいと願い、子どもたちの健全育成について今後も議論していきたいと思っています。(記 布施 賢司)

あとかき

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。

〔議長なんでもメール〕 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
 浜田市 HP → 浜田市議会 HP 「議長なんでもメール」まで